



## 吉藤の町内のこと知っていますか？

吉藤2丁目の潮見ヶ丘団地が昭和40年代に造成される以前は、当地は要害(山)と呼ばれていました。要害とは、辞書によると、「①地形がけわしく守りに有利なこと。また、その場所。②戦略上、重要な場所に築いたとりで。要塞。」とされています。昔は、防衛上の拠点だったのかもしれませんが。

また、吉藤5丁目の菫蒲(しょうぶ)谷は、その昔、「勝負谷」と呼ばれていました。伊予の豪族河野氏が高縄城から道後の湯築城へ城を移した時から、この谷は連絡の要路として重要視され、精鋭の勇士たちが住んでいました。

しかし、天正13年(1585年)、土佐の長宗我部軍が大軍を率いて、この谷に押し寄せてきた際、奮

戦及ばず敗れてしまい、河野家滅亡後、谷川のせせらぎに群生している菫蒲にあやかって、「菫蒲谷」となったと伝えられています。

現在は静かな住宅街の吉藤も、過去には争いの地となったことがあります。菫蒲谷



要害

明治36年大日本帝國陸地測量部作成

## 潮見地区合同防災訓練

潮見地区自主防災連合会主催の合同防災訓練(避難所運営訓練)が、11月12日(土)潮見公民館において開催されました。

今年も新型コロナの感染状況を考慮し、関係者のみでの実施となり、吉藤町内会からは藤村会長をはじめ防災士の役員等が参加しました。



自主防災連合会では各種防災資機材の備蓄を進めており、参加者は資機材の確認のほか、避難所の受付、避難用テントの設営などを体験しました。

### <下期町内会費集金のお礼>

12月4日に下期町内会費を収納しました。皆様ご協力ありがとうございました。

○集金額:1,654,000円

吉藤町内会長 藤村和男

## 町内会からの支出先団体通信

### 【吉藤長生会】

吉藤長生会は、吉藤町内会と松山市からの助成金を、本当に有難く利用させていただいています。今年で3年も続くコロナ禍の中、私達長生会も他に変わらず大変な年に悩まされ、現在は活動が限られています。この機会に会則や事業を簡単に御紹介させていただきます。

吉藤長生会は、原則として町内に居住する60歳以上を会員に、会員相互の親睦を図るとともに健全にして豊かな生活の建設を目的に活動しており、皆様の御協力を力に60年近く続いています。この目的を達成するため、いろいろな研修や見学旅行、男の料理教室などの事業を行っており、会員同士が自



由に話し合い、元気な体づくりができればと思っています。

吉藤長生会の目標は、私は、心の明るさや誰もが持っている得意なことで、人々を明るくすることだと思います。吉藤町内会だよりを見るたびに、町内会や各種団体でお世話をいただいている役員の方々の大変さがよく分かります。お互いこれからも協力し合い、宜しくお願い致します。

吉藤長生会 会長 向井多津子